



平成 26 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社コネクトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 長倉 統己
(コード：3647 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理本部長 矢野 浩司
(TEL：03-5439-6580)

借入による資金調達に関するお知らせ

当社は、平成26年12月19日開催の取締役会において、下記のとおり借入による資金調達を行うことを決議いたしましたので、お知らせ致します。

記

1. 資金借入の理由

平成 26 年 10 月 29 日付「子会社の異動（新設）並びに新規事業の開始に関するお知らせ」においてお知らせしましたとおり、当社グループは更なる業容を拡大させるため、株式会社エコ・ボンズを設立し、当社グループにおける新たな事業領域として太陽光発電事業を展開しております。このたび、株式会社エコ・ボンズへの事業資金の貸付け（太陽光発電事業用地の仕入資金等に充当）を行うために、株式会社コネクトテクノロジーズから 250 百万円の借入を実行いたします。

2. 資金借入の概要

- (1) 借入金額 金 250 百万円
- (2) 借入先 株式会社コネクトテクノロジーズ
- (3) 利率 年利 2.0%
- (4) 借入実行日 平成 26 年 12 月 24 日（予定）
- (5) 返済期日 平成 27 年 3 月 31 日
- (6) 担保状況 無担保・無保証
- (7) 返済用途 株式会社エコ・ボンズにおける太陽光発電事業用地の売却により充当予定

3. 借入先の概要

(1) 名 称	株式会社コネクトテクノロジーズ
(2) 所 在 地	愛知県名古屋市熱田区二番一丁目 1 番 9 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐藤辰夫
(4) 事 業 内 容	ソフトウェア開発事業・広告事業・飲食卸事業・投資事業
(5) 資 本 金	10,000,000 円
(6) 設 立 年 月 日	平成 12 年 5 月 17 日
(7) 発 行 済 株 式 数	123,846 株
(8) 決 算 期	8 月

(9) 従業員数	10名
(10) 大株主及び持株比率	佐藤良太 96.89% 佐藤圭子 3.11%
(11) 上場会社と当該会社との間の関係	
資本関係	当社の支配株主である佐藤辰夫氏の近親者が当該会社の株式を100%保有しております。
人的関係	当社の支配株主である佐藤辰夫氏が当該会社の代表取締役を兼任しております。
取引関係	当社は当該会社より以下の資金の借入があります。 (1) 借入金額 金 55 百万円 (2) 利率 年利 10.0% (3) 借入実行日 平成 26 年 10 月 30 日 (4) 返済期日 平成 27 年 3 月 1 日 (5) 担保 なし (6) 資金使途 株式会社 SBY の運転資金に充当 (7) 返済目途 売掛金等の回収により充当予定
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者に該当します。

4. 支配株主等との取引に関する事項

(1) 当該取引は、当社の支配株主である佐藤辰夫氏の近親者が当該会社の株式を100%保有している株式会社コネクトテクノロジーズとの取引となります。

(2) 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針との適合状況
当社は、平成26年12月2日に公表したコーポレートガバナンス報告書において、支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針として、「当社は支配株主との間で取引が発生するような場合には、その取引金額の多寡にかかわらず、取締役会において取引内容、取引条件の公平性・妥当性を審議の上、その決議をもって適切に対応することとしております。」と定めております。

今回の取引におきましても、公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に加えて、取引内容、取引条件の公平性・妥当性について十分な審議を重ね合理的に決定しており、少数株主の保護の方策に関する当社の指針に適合していると判断しております。

(3) 公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項

当該取引における条件は、一般的な金融機関等からの借入金利を考慮するとともに、当社の財務状況を踏まえて合理的な条件としております。また、当該借入における取締役会決議においては、取締役7名及び監査役3名全員が出席のもと、当事者である佐藤辰夫氏は決議に加わらないこととしており、利益相反を回避するための措置を講じております。

(4) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

当該取引における企業行動規範に定める手続きとして、当社の独立役員として選任している社外取締役名越陽子氏（弁護士）、及び社外監査役である朝田裕之氏、同菊本雅文氏、同稲垣隆秀氏より、今回の資金借入の件に関して、公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に加えて、資金使途及び取引内容は合理的に決定されており、妥当性が認められることから、当該取引が少数株主にとって不利益なものとし

て該当しない旨の意見書を平成 26 年 12 月 19 日付でいただいております。

5. 今後の見通し

本件の借入により、平成 27 年 8 月期第 2 四半期以降において業績に寄与するものと考えられますが、具体的な内容につきましては現在精査中であり、決定次第速やかに開示致します。

以 上

(参考) 前期連結実績

単位 百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
前期連結実績 (平成 26 年 8 月期)	1,510	35	29	11

※平成 26 年 8 月期末連結純資産 487 百万円

※平成 27 年 8 月期の連結業績予想 (平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)

当社は、既存事業での新規出店及び新事業態並びに既存事業以外での新事業の立ち上げに関わる各国の市場動向・経済情勢・法規制や税制等に関わる不確定要素が大きく合理的な予想値の算定を行うことは困難であり、現段階では適切な予想の開示ができないと判断したため、記載しておりませんが、今後、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定です。